

平成18年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田・転作科(岩見沢市)

I 気象概況

- 7月下旬：平均気温は平年より2.0℃低く、降水量は平年の0%、日照時間は平年の154%であり、低温多照に経過した。
 8月上旬：平均気温は平年より2.3℃高く、降水量は平年の0%、日照時間は平年の154%であり、高温多照に経過した。
 8月中旬：平均気温は平年より3.3℃高く、降水量は平年の328%、日照時間は平年の84%であり、高温多雨寡照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より1.1℃高く、降水量は平年比58%、日照時間は平年比129%であり、高温少雨多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	24.6	25.7	△ 1.1	29.4	25.8	3.6	27.7	24.9	2.8	27.1	25.5	1.6
最低気温(℃)	15.7	18.4	△ 2.7	19.7	18.6	1.1	21.2	17.2	4.0	18.7	18.1	0.6
平均気温(℃)	20.1	22.1	△ 2.0	24.5	22.2	2.3	24.4	21.1	3.3	22.9	21.8	1.1
降水量(mm)	0.0	52.8	△ 52.8	0.0	63.6	△ 63.6	82.0	25.0	57.0	82.0	141.4	△ 59.4
日照時間(hr)	75.6	49.1	26.5	73.1	47.5	25.6	43.3	51.8	△ 8.5	192.0	148.4	43.6

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成6年～15年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。

最高、最低、平均気温は期間内の平均値。降水量、日照時間は期間内の積算値を用いた。

II 作況

水稻 作況：やや不良

事由：止葉始はほぼ平年より4～5日遅く、また7月下旬の低温で生育はさらに遅延し、8月上旬から天候は回復したものの出穂期は8月7日～9日と平年より遅れた。8月20日における稈長は、「きらら397」で5.5cm、「ほしのゆめ」で4.0cmそれぞれ平年に比べて長く、穂長は「きらら397」で0.6cm、「ほしのゆめ」で0.3cm長かった。穂数は「きらら397」で平年比104%、「ほしのゆめ」で121%であった。

以上より、生育が依然として遅れていること、m²当たり籾数は平年並に確保できる見込みだが、穂は遅発分げつ由来のものが多く登熟ムラが懸念されることから、作況は「やや不良」である。

品種名	栽培方法	止葉始(月.日)			出穂期(月.日)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	7.27	7.22	5	8.9	8.2	7
ほしのゆめ	中苗紙筒	7.23	7.19	4	8.8	8.1	7
ななつぼし	中苗紙筒	7.22	-	-	8.7	-	-

品種名	栽培方法	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	68.0	62.5	5.5	16.9	16.3	0.6	703	674	29
ほしのゆめ	中苗紙筒	70.0	66.0	4.0	16.3	16.0	0.3	840	695	145
ななつぼし	中苗紙筒	70.9	-	-	17.1	-	-	691	-	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2) 本年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注3) 耕種概要

土 壤：細粒グライ土
 施 肥：高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1,500kg/10a
 播 種 量：中苗紙筒=180cc/箱 成苗ポット=35g/箱 移植方法：手植え
 栽 植 密 度：30×13.3cm 25株/m² 4本植え 反 復：2

畑作の部

畑作科(長沼町)

I 気象概況

7月下旬：気温は平年より平均気温で2.1℃低く著しい低温となった。降水量は1mmで平年に比べかなり少なかった。日照時間はかなり多かった。

8月上旬：気温は平年より高く、5日連続で夏日となった。降水量は、この間なく平年より著しく少なかった。日照時間は多かった。

8月中旬：気温は前期に引き続き著しく高く経過した。降水量は、17～19日かけ53mmの降雨により平年をやや上回った。日照時間は平年をやや下回った。

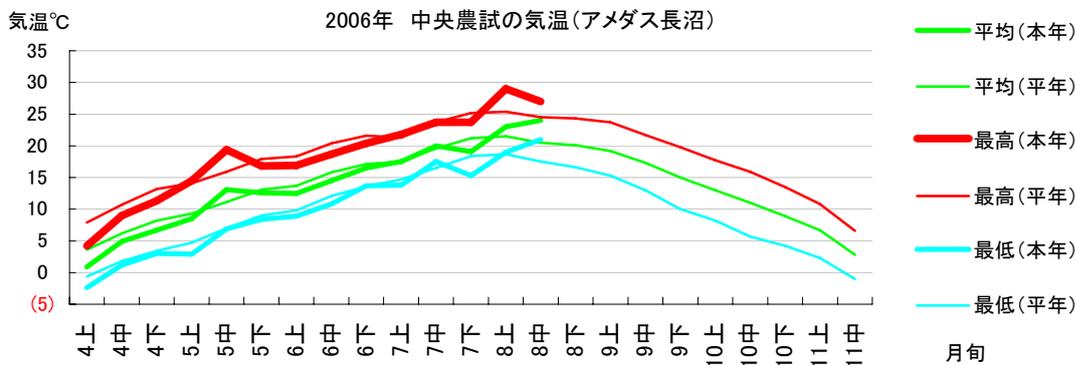
以上、1ヶ月を通じてみると、気温は7月下旬まで著しく低く、その後は高く経過した。降水量は全般を通じて著しく少なく、日照時間はかなり多かった。

7月下旬～8月中旬気象表

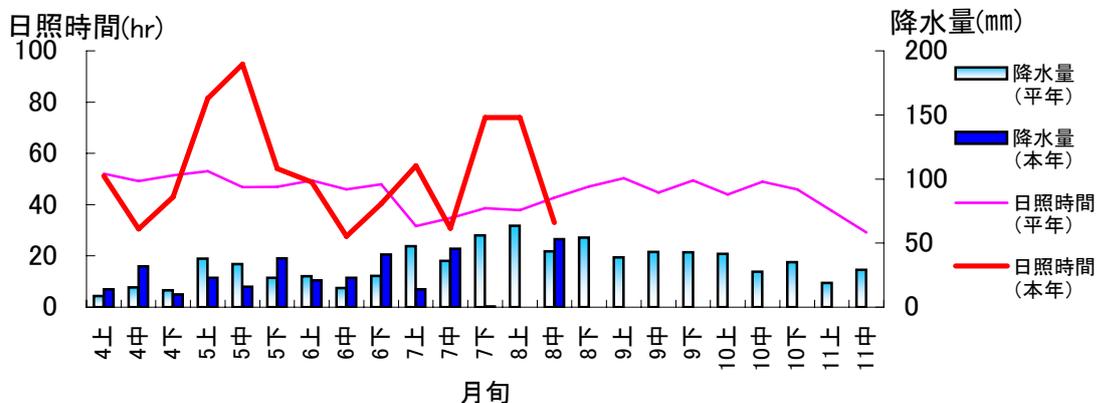
項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	19.1	21.2	△2.1	23.2	21.5	1.7	23.5	20.5	3.0	21.9	21.1	0.8
最高気温(℃)	24.0	25.2	△1.2	28.8	25.4	3.4	26.9	24.5	2.4	26.6	25.0	1.6
最低気温(℃)	15.3	18.4	△3.1	19.2	18.7	0.5	21.3	17.5	3.8	18.6	18.2	0.4
降水量(mm)	1.0	56.0	△55.0	0.0	63.4	△63.4	53.0	43.7	9.3	54.0	163.1	△109.1
降水日数(日)	1.0	4.3	△3.3	0.0	3.7	△3.7	3.0	3.4	△0.4	4.0	11.4	△7.4
日照時間(hr)	73.5	38.6	34.9	74.2	37.8	36.4	33.0	42.7	△9.7	180.7	119.1	61.6

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成8年～17年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成18年の確定値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。



2006年 中央農試の日照時間と降水量(アメダス長沼)



II 作況

1. 秋まき小麦 作況：やや不良

事由：成熟期は平年より4～5日遅れとなった。「ホロシリコムギ」は平年より穂数が多かったものの、千粒重は小さく、子実重は平年並となった。「ホクシン」も穂数は平年より多かったが、穂長が短く、子実重は平年を12%下回った。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	成熟期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/㎡)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	7.28	7.24	4	111.0	97.0	14.0	7.8	8.8	△ 1.0	802	539	263
ホクシン	7.23	7.18	5	99.0	88.0	11.0	7.8	8.9	△ 1.1	846	619	227

品種名	子実重(kg/10a)				リットル重(g)			千粒重(g)		
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	566	557	9	102	796	790	6	42.0	45.0	△ 3.0
ホクシン	545	619	△ 74	88	795	802	△ 7	40.9	38.9	2.0

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 春まき小麦 作況：良

事由：成熟期が平年より3～5日遅れたことから、登熟日数は平年並みとなった。両品種とも一穂粒数と千粒重は平年並みからやや劣ったが、穂数が多かったため、子実重は平年比109～117%の多収となった。なお、リットル重は未調査、等級検査は未受験である。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	成熟期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/㎡)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	8.06	8.01	5	88	86	2	8.4	8.3	0.1	508	464	44
春よ恋	8.04	8.01	3	98	93	5	8.5	8.5	0.0	542	463	79

品種名	子実重(kg/10a)				リットル重(g)		
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較
ハルユタカ	484	412	72	117	—	790	—
春よ恋	528	486	42	109	—	813	—

品種名	一穂粒数(粒)			千粒重(g)			品質(等級)	
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年
ハルユタカ	28.9	30.0	△ 1.1	38.8	39.0	△ 0.2	—	2中
春よ恋	30.6	32.9	△ 2.3	40.7	41.4	△ 0.7	—	2中

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

リットル重は1リットル升による測定。一穂粒数は、各反復で有効穂を50穂調査。

3. 大豆 作況：やや不良

事由：開花期は平年に比べ4～5日遅かった。8月上旬～8月中旬はかなりの高温で経過したことから、中生の「ツルムスメ」では主茎長、主茎節数とも平年をやや上回ったが、晩生の「ユウヅル」では主茎長は平年より低く、分枝数は平年より少なかった。

参考値ではあるが、着莢数は平年をやや下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	7.24	7.19	5	57.8	55.2	2.6	12.5	12.2	0.3	7.2	6.3	0.9
ユウヅル	8.02	7.29	4	70.5	82.7	△ 12.2	15.9	15.6	0.3	5.8	4.9	0.9
トヨムスメ(参考)	7.22	7.17	5	61.7	61.3	0.4	11.0	10.4	0.6	5.5	6.7	△ 1.2
スズマル(参考)	7.30	7.25	5	65.8	72.5	△ 6.7	14.9	14.2	0.7	10.8	11.1	△ 0.3

品種名	着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較
ツルムスメ	52.9	56.0	△ 3.1
ユウヅル	37.5	43.1	△ 5.6
トヨムスメ(参考)	60.1	74.1	△ 14.0
スズマル(参考)	125.6	149.4	△ 23.8

着莢数は前6か年中、平成14年(最凶)、16年(最豊)を除く4か年平均を平年とし参考値を示す。

4. 小豆 作況：不良

事由：開花期は平年より3日遅い7月28日であった。8月上旬以降高温多照で経過したが、この間降雨がなく干ばつによる影響から、主茎長、主茎節数および着莢数はいずれも平年を大きく下回った。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリモショウズ	7.28	7.25	3	42	61	△ 19	12.3	13.0	△ 0.7	4.3	4.0	0.3

品種名	着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較
エリモショウズ	39.0	56.0	△ 17.0

5. ばれいしょ 作況：不良

事由：7月下旬以降8月中旬まで極端な旱魃と8月上旬からの著しく高温で経過したため、塊茎の肥大が進まないまま枯凋始めに達している。上いも1個重は平年よりやや小粒で、上いも数もやや少なく、上いも重は平年比89%で平年を大きく下回った。また、でん粉価は18.6%と平年より高い。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名	上いも数(個/株)			上いも一個重(g)			上いも重(kg/10a)			でん粉価(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	12.2	13.0	△ 0.8	72	77	△ 5	3,898	4,383	△ 485	18.6	14.6	4.0

注) 平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g以上のいもである。

7. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。